

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人 広島市立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
国際学部	国際学科	夜・通信	75		64	139	13	
情報科学部	情報工学科	夜・通信	69		38	107	13	
	知能工学科	夜・通信			24	93	13	
	システム工学科	夜・通信			20	89	13	
	医用情報科学科	夜・通信			27	96	13	
芸術学部	美術学科	夜・通信	87	26		113	13	
	デザイン工芸学科	夜・通信				113	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ウェブ上で公開している（閲覧方法：「広島市立大学シラバス公開情報」（<http://rsw.office.hiroshima-cu.ac.jp/OpenSyllabus/>）にある「実務経験のある教員等による授業科目一覧」をクリックし、一覧表を表示する。）

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人 広島市立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ウェブサイトに一覧を掲載している。（トップページ>大学紹介>法人情報>法人役員 <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0599/>）また、毎年6月に発行する『公立大学法人広島市立大学の概要』にも記載している。（pdf版を大学ウェブサイトに掲載→トップページ>大学紹介>大学広報>公立大学法人広島市立大学の概要 <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0009/content0270/>）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
今中 亘 (非常勤)	株式会社中国新聞社 特別顧問	2010.4.1～ 2021.3.31	新聞社代表取締役の経験を活かし、法人経営、財務・会計、地域貢献等について、学外からの視点を法人・大学運営に反映
牟田 泰三 (非常勤)	元広島大学長	2010.4.1～ 2021.3.31	元学長の経験を活かし、法人経営、財務・会計、教育研究等について、学外からの視点を法人・大学運営に反映
<p>(備考) 上記任期はともに、以下の更新を経ている。 1期目：2010～2012年度（3年） 2期目：2013～2014年度（2年） 3期目：2015～2016年度（2年） 4期目：2017～2018年度（2年） 5期目：2019～2020年度（2年）</p>			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人 広島市立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>				
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 授業計画(シラバス)には、「科目名」、「単位数」、「担当者」、「履修時期」、「履修対象」、「概要」、「科目の到達目標」、「受講要件」、「事前・事後学習の内容」、「講義内容」、「評価方法・基準」、「教科書等」、「担当者プロフィール」、「備考」の項目を設け、担当教員の実務経験については「担当者プロフィール」に記載している。</p> <p>(2) 毎年度、次年度科目担当が決定した後、12月から翌年1月にかけて各教員がシステムで授業計画(シラバス)を作成(時点修正)し、2月から3月にかけて内容確認及び内部公開を経て、4月から全面公開している。</p>				
授業計画書の公表方法	ウェブ上で公開している(「広島市立大学シラバス公開情報」 http://rsw.office.hiroshima-cu.ac.jp/OpenSyllabus/)			
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>				
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 成績は、試験、実技、実習、レポートの成績及び授業等への参加状況を総合して評価している。</p> <p>(2) 評価は次の基準により行い、「秀」、「優」、「良」、「可」を「合格」とし、所定の単位を認定している。</p>				
評価	評価の内容	評点(試験等の得点)	GP	合否
秀	科目の到達目標を十分達成し、到達目標を超えた極めて優秀な成果をおさめている。	90点～100点	4	合格
優	科目の到達目標を十分達成している。	80点～89点	3	
良	科目の到達目標を達成している。	70点～79点	2	
可	科目の到達目標を最低限達成している。	60点～69点	1	
不可	科目の到達目標を達成していない。	59点以下	0	不合格
<p>(3) 上記は、学生に配付するハンドブックに記載し、周知を図っている。</p>				

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 以下によりG P Aを算出している。 $G P A = \frac{\text{成績評価を受けた授業科目の GP} \times \text{当該授業科目の単位数}}{\text{成績評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$</p> <p>(2) G P Aの算出にあつては、卒業要件単位に含めない自由科目は対象外とし、学生は、それぞれ成績評価を受けた学期ごとの「学期G P A」と入学時から当該学期までの「通算G P A」を成績原簿で確認できる。</p> <p>(3) G P Aは、学生の学習意欲の向上や値を下げることに繋がる無計画な履修抑制に資するとともに、授業料減免や各種奨学金の対象者決定、特待生の選考等に活用している。</p> <p>(4) また、G P A制度導入と併せて、履修登録をしたものの、授業の内容が自分の勉強したいものと違っていた等の場合には、一定期間内であれば所定の手続により履修登録を取り消せる制度も設けている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学ウェブサイトで公開している。(トップページ>在学生・保護者の方へ>履修について>成績評価・進級基準>https://www.hiroshima-cu.ac.jp/student/category0012/content0054/)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を以下のとおり定めている。

(1) 国際学部

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身につけた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与します。

(知識・技能)

1. 人文・社会科学の専門的な知見や理論についての幅広く系統的な知識。
2. 分野を統合して学際的に思考・探究する知識・技能。

(思考力・判断力・表現力)

1. 人文・社会科学の様々な分野に関する知見や理論を基に社会の諸問題を探究し、根拠に基づいて論理的に考え判断する能力。
2. 自らの考えを説得的に分かりやすく表現する能力。

(主体性・協働性)

1. 社会が抱える課題を自発的に見出し、その解決に取り組む姿勢。
2. グローバル化が進展する世界の中で、多様な背景を持った人々と共に生き、かつ社会を築いていくために他者と協働する態度。

(2) 情報科学部

情報科学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身につけた上で、卒業論文の執筆と発表を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（情報工学又は情報科学）」の学位を授与します。

(知識・技能)

1. 以下の分野における専門的な知識・技能。

コンピュータとネットワークに関するハードウェア（回路など）やソフトウェア（プログラムなど）の技術をもとに、コンピュータとネットワークの融合技術やコミュニケーション技術の開発・活用などに取り組む研究分野。〔情報工学科〕

人と人、人と機械のコミュニケーションの円滑化や創造的な活動の支援を実現するための人工知能などの知的情報システムの仕組み、膨大なデータから法則性を見つけ出す情報解析技術などに関する研究分野。〔知能工学科〕

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、ロボット開発のためのシステム化技術や、ロボットや情報機器をより快適に使うための機器開発などに取り組む研究分野。〔システム工学科〕

安心・安全で豊かな社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する知識・技能を基に、医療、生命、環境等の分野における諸問題の解決に向け、既存の学問体系の枠を超えて取り組む研究分野。〔医用情報科学科〕

2. グローバル化が進む社会で応用できる英語力。

(思考力・判断力・表現力)

1. 情報科学とその応用分野における専門的な知識・技能に基づき総合的に思考し、論理的・合理的に判断する能力。
2. 自らの考えを論理的に分かりやすく表現する能力。

(主体性・協働性)

1. 自ら課題を発見して目標を設定し、情報科学の切り口から課題の解決に向けて主体的に取り組む態度。

2. グローバル化の進展や高度情報化など社会が変化する中で、多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決や新たな価値の創造に向けて協働して取り組む態度。

(3) 芸術学部

芸術学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを自らの創作と社会で活かすための資質・能力を身につけた上で卒業制作を行い、審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与します。

(知識・技能)

1. 以下の分野における専門的な知識・技能。

[美術学科]

- ・ 日本画における伝統的絵画表現、技法材料研究、独創的な絵画表現を探究する分野。(日本画専攻)
- ・ 西洋の伝統的絵画である油絵の本質を理解し、絵画の新しい造形と表現を探究する分野。(油絵専攻)
- ・ 彫刻の伝統と芸術文化の歴史を踏まえ、現代における独創的な造形表現を探究する分野。(彫刻専攻)

[デザイン工芸学科]

現代表現、視覚造形、映像メディア造形、立体造形、金属造形、染織造形、漆造形といった、社会や生活に関わる造形・表現を探究する分野。

2. 修得した専門的な知識・技能を基に新たな創作を生み出す応用力。

(思考力・判断力・表現力)

1. 専門的な知識・技能とそれらを修得する中で磨いた感性と表現力を基に、次代の文化芸術の創造を目指し、柔軟な思考をもって、独創的な創作に向けて判断する能力。
2. 創作に込めた自らの考えを作品と言葉によつて的確に他者や社会に伝える能力。

(主体性・協働性)

1. 自らの創作を社会との関わりの中で主体的に生かそうとする。
2. 自らの創作を通じて他者と協働して取り組む。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ウェブサイトで公開している。(トップページ>大学紹介>教育情報の公表>大学の教育研究上の目的及び各ポリシー>人材育成の目標及びポリシー><https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0111/content0656/>)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島市立大学
設置者名	公立大学法人 広島市立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ウェブサイト (https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0013/)
収支計算書又は損益計算書	大学ウェブサイト (https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0013/)
財産目録	該当なし
事業報告書	大学ウェブサイト (https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0013/)
監事による監査報告(書)	大学ウェブサイト (https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0013/)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:公立大学法人広島市立大学年度計画(平成31年度) 対象年度:平成31年度)
公表方法:大学ウェブサイト トップページ>大学紹介>法人情報>中期目標・中期計画・年度計画・業務実績報告・評価結果 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0009/
中長期計画(名称:公立大学法人広島市立大学第2期中期計画 対象年度:平成28年度~令和3年度)
公表方法:トップページ>大学紹介>法人情報>中期目標・中期計画・年度計画・業務実績報告・評価結果 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0009/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学ウェブサイトで、「業務実績報告書」を公開している。 (トップページ>大学紹介>法人情報>中期目標・中期計画・年度計画・業務実績報告・評価結果 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0009/)
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学ウェブサイトで、「自己点検・評価報告書」及び認証評価結果を公開している。(トップページ>大学紹介>法人情報>大学評価 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0005/content0016/)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：大学ウェブサイト https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0111/content0656/ ）
（概要） 【国際学部】 豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成すること。 【情報科学部】 情報工学及び情報科学分野の専門的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成すること。 【芸術学部】 創造性、先見性及び独創性に富み、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材を育成すること。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ウェブサイト https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0111/content0656/ ）
（概要） 【国際学部】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、修得する人文・社会科学の専門的な知見や理論を基に社会が抱える諸問題を系統的、学際的に思考・探究し、解決に向けて他者と協働しながら取り組める資質を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与する。 【情報科学部】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、各学科で修得する専門的知識・技能及びそれらを基に課題解決に取り組む総合的、合理的な思考・判断能力、並びにグローバル社会におけるコミュニケーション能力（語学力）や協働性を身に付けた上で、卒業論文の執筆と発表を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（情報工学又は情報科学）」の学位を授与する。 【芸術学部】 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、各専攻分野の専門的知識・技能とそれを基に新たな創作を生み出す応用力を修得し、それらを社会の中で生かそうとする思考力、表現力、主体性、協働性などを身に付けた上で、卒業制作を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ウェブサイト https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0111/content0656/ ）
（概要） 【国際学部】 上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目や外国語科目、各プログラム専門科目、演習科目等のほか、キャリア教育、グローバル人材育成、地域志向人材育成などの科目も取り入れ、さらに少人数制の学際的なカリキュラムを編成する。 【情報科学部】 上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目、各学科の専門科目、

実験科目等のほか、キャリア教育、グローバル人材育成、地域志向人材育成などの科目も取り入れ、さらに数学、プログラミング、英語の重点的な教育を行い、学生の多様化に対応したカリキュラムを編成する。

【芸術学部】

上記「卒業の認定に関する方針」を達成するため、全学共通系科目、各専攻分野専門科目、卒業制作のほか、キャリア教育、グローバル人材育成、地域志向人材育成などの科目も取り入れ、基礎実技と応用力の修得、少人数教育、領域横断的教育を重視したカリキュラムを編成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ウェブサイト <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0111/content0656/>）

（概要）

【国際学部】

上記「卒業の認定に関する方針」及び「教育課程の編成及び実施に関する方針」を踏まえ、国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、高等学校までに修得した知識や外国語運用能力を持って主体的、積極的に学び、思考し、解決に向けて他者と協働できる意欲を持つ人を求める。

【情報科学部】

上記「卒業の認定に関する方針」及び「教育課程の編成及び実施に関する方針」を踏まえ、情報工学・情報科学に関心と学修意欲を持ち、高等学校までに修得すべき数学、理科、語学の知識・技能を備え、物事に対する多面的視点と総合的・論理的思考力及び判断力、国際社会や地域社会で課題解決に取り組む主体性や協働性を持っている人を求める。

【芸術学部】

上記「卒業の認定に関する方針」及び「教育課程の編成及び実施に関する方針」を踏まえ、芸術を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献することに意欲を持ち、高等学校までに習得すべき知識・技能及び芸術を学ぶための基礎的な技術・感性を備え、表現力や主体性、協働性を持った人を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ウェブサイトに、「学部及び学科」「大学院及び専攻」「附置研究所」で構成される教育研究上の基本組織の一覧を掲載している。（トップページ>大学紹介>教育情報の公表>教育研究上の基本組織 <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0112/>）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
芸術学部	—	14人	8人	5人	3人	人	30人
国際学部	—	19人	19人	6人	人	人	44人
情報科学研究科	—	25人	33人	20人	19人	人	97人
広島平和研究所	—	9人	6人	人	人	人	15人
その他	—	4人	1人	1人	4人	人	10人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			216人				216人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ウェブ上で公開している（「広島市立大学教員総覧」 http://rsw.office.hiroshima-cu.ac.jp/scripts/websearch/index.htm					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
全学及び各学部においてFD・SDセミナー・研修会を企画、実施している。 （2018年度は、全学で13回、各学部で7回実施）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際学部	100人	111人	111.0%	400人	487人	121.8%	人	人
情報科学部	210人	232人	110.5%	840人	952人	113.3%	人	人
芸術学部	80人	92人	115.0%	320人	357人	111.6%	人	人
合計	390人	435人	111.5%	1,560人	1,796人	115.1%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際学部	95人 (100%)	1人 (1.1%)	83人 (87.4%)	11人 (11.6%)
情報科学部	202人 (100%)	53人 (26.2%)	142人 (70.3%)	7人 (3.5%)
芸術学部	74人 (100%)	19人 (25.7%)	35人 (47.3%)	20人 (27.0%)
合計	371人 (100%)	73人 (19.7%)	260人 (70.1%)	38人 (10.2%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際学部	113人 (100%)	70人 (61.9%)	40人 (35.4%)	3人 (2.7%)	人 (%)
情報科学部	224人 (100%)	180人 (80.4%)	29人 (12.9%)	15人 (6.7%)	人 (%)
芸術学部	87人 (100%)	72人 (82.8%)	8人 (9.2%)	7人 (8.0%)	人 (%)
合計	424人 (100%)	322人 (75.9%)	77人 (18.2%)	25人 (5.9%)	人 (%)
(備考) 国際学部においては、留学による留年が多い。					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
(1) 授業計画(シラバス)には、「科目名」、「単位数」、「担当者」、「履修時期」、「履修対象」、「概要」、「科目の到達目標」、「受講要件」、「事前・事後学習の内容」、「講義内容」、「評価方法・基準」、「教科書等」、「担当者プロフィール」、「備考」の項目を設け、担当教員の実務経験については「担当者プロフィール」に記載している。
(2) 毎年度、次年度科目担当が決定した後、12月から翌年1月にかけて各教員がシステムで授業計画(シラバス)を作成(時点修正)し、2月から3月にかけて内容確認及び内部公開を経て、4月から全面公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

- (1) 成績は、試験、実技、実習、レポートの成績及び授業等への参加状況を総合して評価している。
- (2) 評価は次の基準により行い、「秀」、「優」、「良」、「可」を「合格」とし、所定の単位を認定している。

評価	評価の内容	評点(試験等の得点)	GP	可否
秀	科目の到達目標を十分達成し、到達目標を超えた極めて優秀な成果をおさめている。	90点～100点	4	合格
優	科目の到達目標を十分達成している。	80点～89点	3	
良	科目の到達目標を達成している。	70点～79点	2	
可	科目の到達目標を最低限達成している。	60点～69点	1	
不可	科目の到達目標を達成していない。	59点以下	0	不合格

- (3) 上記は、学生に配付するハンドブックに記載し、周知を図っている。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
国際学部	国際学科	128 単位	○・無	1 学期 24 単位
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	129 単位	○・無	1 学期 24 単位
芸術学部	美術学科 デザイン工芸学科	128 単位	○・無	1 学期 24 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ウェブサイトで公開している。(トップページ>キャンパスガイド>
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/content0005/>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
国際学部	国際学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	0 円	
情報科学部	情報工学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	0 円	
	知能工学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	0 円	
	システム工学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	0 円	
	医用情報科学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	0 円	
芸術学部	美術学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	約 370,000 円～ 約 770,000 円	「その他」の内訳は専攻により異なる。 ・教材費 (4 年分) ・古美術研究旅行費 (3 年次)
	デザイン工芸学科	535,800 円	(広島市内の者) 282,000 円 (それ以外の者) 423,000 円	約 480,000 円	「その他」の内訳は専攻により異なる。 ・教材費 (4 年分) ・古美術研究旅行費 (3 年次)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 経済的支援としては、授業料等の減免制度や徴収猶予制度のほか、成績優秀で他の模範となる学生に奨学金を給付する特待生制度を実施している。また、留学する学生に対し、費用の一部を補助する制度を実施している。 学修面の支援としては、リメディアル教育 (英語・数学・美術) のほか、ランゲージチューター制度 (日本人学生と留学生とが母語を教え合うもの) を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生の進路支援を行うキャリアセンターを設置し、インターンシップや就職関連情報の提供、就職支援セミナーの実施、企業の採用担当を招く大学説明会の開催などのキャリア形成支援を実施している。 キャリアセンターには経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、就職・進路相談、模擬面接やエントリーシートの添削など、一人ひとりに合わせたきめ細かく丁寧な支援を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的として保健管理室を設置しており、定期健康診断、応急手当、健康相談、カウンセリング等を行っている。また、ピアサポーター（学生ボランティア）を設置し、学生生活上、支援を必要とする学生に対して気軽に相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ウェブサイトや、設置団体である広島市の広報課を通じて各メディアへプレスリリース等を実施している。また、個々の教員の教育研究活動等については、ウェブ上で閲覧できる教員総覧 (<http://rsw.office.hiroshima-cu.ac.jp/scripts/websearch/>) や、2018年度より隔年で発行する『ファカルティ・レポート』（印刷媒体及び電子媒体 (<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0015/content0119/>)) により、公表している。